

平成30年度 授業シラバスの詳細内容

科目名(英)	ゼミナールⅢ (Seminar Ⅲ) 【坂元ゼミ】			授業コード	E002630			
担当教員名	坂元 英毅			科目ナンバリングコード	E31203			
配当学年	3	開講期	通年					
必修・選択区分	必修	単位数	4					
履修上の注意または履修条件	以下の①②を満たしていること ① 公的部門の会計に関心があること ② ゼミ活動を優先し、課外活動にも積極的に参画できること							
受講心得	ゼミには必ず出席してください。 ゼミ時間外での調査や研究、グループでの打ち合わせなど、相当な準備を求めます。 参画が不十分な場合は単位認定しません。							
教科書	適宜指示ないし資料配付します。							
参考文献及び指定図書	適宜指示ないし資料配付します。							
関連科目	管理会計論、監査論 ほか会計科目							

授業の目的	会計の知識や技能を身に付けながら、それを実社会で活用できる人間に成長するための基礎づくりをします。会計理論の習得や簿記検定等の資格取得は一つの立派な成果ではありますが、知識や技能は持っているだけでは不十分です。それらを自身が所属する会社や地域、あるいは社会全体に還元することによって初めて自分の力となり、また同時に世の中のためにもなります。ゼミではそのために必要な論理的思考力、企画力、プレゼンテーション能力等も身に付けていきます。
授業の概要	会計理論の演習、学生自身によるニュース発表を含むプレゼンテーション、ディスカッション等を適宜組み合わせて進めていきます。ゼミの運営にあたってはゼミ生との積極的なコミュニケーションを図り、常に対話とフィードバックを行いながら理解を深めていきます。

○授業計画	
学修内容	学修課題(予習・復習)
第1週：オリエンテーション ゼミの目的や運営方法について説明し、各位と個別面談(履修指導を含む)を行います。	1年間の学修計画を立てる(1h)
第2週：講義・ディスカッション 近年の会計理論をめぐる動向について講義し、議論します。	配付資料の確認とふり返り(2h・1h)
第3週：講義・ディスカッション 近年の会計理論をめぐる動向について講義し、議論します。	配付資料の確認とふり返り(2h・1h)
第4週：講義・ディスカッション 近年の会計理論をめぐる動向について講義し、議論します。	配付資料の確認とふり返り(2h・1h)
第5週：スピーチ・プレゼンテーション・ディスカッション 近年の会計理論をめぐる動向と社会の関係について調査し、考察を加えて議論します。	発表に向けた調査・資料準備と振り返り(3h・1h)
第6週：スピーチ・プレゼンテーション・ディスカッション 近年の会計理論をめぐる動向と社会の関係について調査し、考察を加えて議論します。	発表に向けた調査・資料準備と振り返り(3h・1h)
第7週：スピーチ・プレゼンテーション・ディスカッション 近年の会計理論をめぐる動向と社会の関係について調査し、考察を加えて議論します。	発表に向けた調査・資料準備と振り返り(3h・1h)

第8週：スピーチ・プレゼンテーション・ディスカッション 近年の会計理論をめぐる動向と社会の関係について調査し、考察を加えて議論します。	発表に向けた調査・資料準備と振り返り(3h・1h)
第9週：スピーチ・プレゼンテーション・ディスカッション 近年の会計理論をめぐる動向と社会の関係について調査し、考察を加えて議論します。	発表に向けた調査・資料準備と振り返り(3h・1h)
第10週：スピーチ・プレゼンテーション・ディスカッション 近年の会計理論をめぐる動向と社会の関係について調査し、考察を加えて議論します。	発表に向けた調査・資料準備と振り返り(3h・1h)
第11週：スピーチ・プレゼンテーション・ディスカッション 近年の会計理論をめぐる動向と社会の関係について調査し、考察を加えて議論します。	発表に向けた調査・資料準備と振り返り(3h・1h)
第12週：スピーチ・プレゼンテーション・ディスカッション 近年の会計理論をめぐる動向と社会の関係について調査し、考察を加えて議論します。	発表に向けた調査・資料準備と振り返り(3h・1h)
第13週：スピーチ・プレゼンテーション・ディスカッション 近年の会計理論をめぐる動向と社会の関係について調査し、考察を加えて議論します。	発表に向けた調査・資料準備と振り返り(3h・1h)
第14週：スピーチ・プレゼンテーション・ディスカッション 近年の会計理論をめぐる動向と社会の関係について調査し、考察を加えて議論します。	発表に向けた調査・資料準備と振り返り(3h・1h)
第15週：ディベート 与えられたテーマに対して、肯定側と否定側に分かれて討論します。	自説を立証するための調査・研究・資料準備とふり返り(20h・1h)
第16週：オリエンテーション ゼミの目的や運営方法について説明し、各位と個別面談(履修指導を含む)を行います。	後期の学修計画を立てる(1h)
第17週：スピーチ・プレゼンテーション・ディスカッション 近年の非営利会計をめぐる動向と社会の関係について調査し、考察を加えて議論します。	発表に向けた調査・資料準備と振り返り(3h・1h)
第18週：スピーチ・プレゼンテーション・ディスカッション 近年の非営利会計をめぐる動向と社会の関係について調査し、考察を加えて議論します。	発表に向けた調査・資料準備と振り返り(3h・1h)
第19週：スピーチ・プレゼンテーション・ディスカッション 近年の非営利会計をめぐる動向と社会の関係について調査し、考察を加えて議論します。	発表に向けた調査・資料準備と振り返り(3h・1h)
第20週：スピーチ・プレゼンテーション・ディスカッション 近年の非営利会計をめぐる動向と社会の関係について調査し、考察を加えて議論します。	発表に向けた調査・資料準備と振り返り(3h・1h)
第21週：スピーチ・プレゼンテーション・ディスカッション 近年の非営利会計をめぐる動向と社会の関係について調査し、考察を加えて議論します。	発表に向けた調査・資料準備と振り返り(3h・1h)
第22週：スピーチ・プレゼンテーション・ディスカッション 近年の非営利会計をめぐる動向と社会の関係について調査し、考察を加えて議論します。	発表に向けた調査・資料準備と振り返り(3h・1h)
第23週：スピーチ・プレゼンテーション・ディスカッション	

近年の非営利会計をめぐる動向と社会の関係について調査し、考察を加えて議論します。	発表に向けた調査・資料準備と振り返り(3h・1h)
第24週：スピーチ・プレゼンテーション・ディスカッション 近年の非営利会計をめぐる動向と社会の関係について調査し、考察を加えて議論します。	発表に向けた調査・資料準備と振り返り(3h・1h)
第25週：スピーチ・プレゼンテーション・ディスカッション 近年の非営利会計をめぐる動向と社会の関係について調査し、考察を加えて議論します。	発表に向けた調査・資料準備と振り返り(3h・1h)
第26週：スピーチ・プレゼンテーション・ディスカッション 近年の非営利会計をめぐる動向と社会の関係について調査し、考察を加えて議論します。	発表に向けた調査・資料準備と振り返り(3h・1h)
第27週：卒業研究への準備 卒業研究のテーマと割り振りを決定します。	テーマに関連する情報収集・整理(3h)
第28週：卒業研究への準備 卒業研究に向けたスケジュールを確認します。	テーマに関連する情報収集・整理(3h)・アウトライン作成(1h)
第29週：卒業研究への準備 卒業研究のアウトラインを検討します。	アウトラインの再検討と必要作業の洗い出し(3h)
第30週：卒業研究への準備 卒業研究の具体的な作業を洗い出し、確認します。	作業の役割分担と文献収集(20h)
第31週：期末試験 実施しません。	

授業の運営方法	(1)授業の形式	「演習等形式」
	(2)複数担当の場合の方式	
	(3)アクティブラーニング	「アクティブラーニング科目」
地域志向科目	カテゴリー III：地域における課題解決に必要な知識を修得する科目	
備考		

○単位を修得するために達成すべき到達目標	
【関心・意欲・態度】	ゼミ全体への貢献を意識できていること。
【知識・理解】	会計学の近年の動向および、その社会とのつながりを理解していること。
【技能・表現・コミュニケーション】	自らの考えをわかりやすく説明し、他者を納得させることができること。
【思考・判断・創造】	会計と社会のつながりについて、創造的な考察ができること。

○成績評価基準(合計100点)			合計欄	100点
到達目標の各観点と成績評価方法の関係および配点	期末試験・中間確認等(テスト)	レポート・作品等(提出物)	発表・その他(無形成果)	
【関心・意欲・態度】 ※「学修に取り組む姿勢・意欲」を含む。		10点	20点	

【知識・理解】 ※「専門能力(知識の獲得)」を含む。		10点	20点
【技能・表現・コミュニケーション】 ※「専門能力(知識の活用)」「チームで働く力」「前に踏み出す力」を含む。		10点	10点
【思考・判断・創造】 ※「考え方」を含む。		10点	10点
(「人間力」について) ※以上の観点に、「こころの力」(自己的能力を最大限に發揮するとともに、「自分自身」「他者」「自然」「文化」等との望ましい関係を築き、人格の向上を目指す能力)と「職業能力」(職業観、読解力、論理的思考、表現能力など、産業界の一員となり地域・社会に貢献するために必要な能力)を加えた能力が「人間力」です。			

○配点の明確でない成績評価方法における評価の実施方法と達成水準の目安

成績評価方法	評価の実施方法と達成水準の目安
レポート・作品等 (提出物)	作成するレジュメや資料が、わかりやすく簡潔にまとめられているか。またレポートでは自身のキャリアについて深く考察しているかを評価します。
発表・その他 (無形成果)	ゼミ時間の内外を問わず積極的に活動しているか、応用的な会計理論を理解しているか、口頭発表でわかりやすい説明ができるか、創造的な考察ができるか、を総合的に評価します。